

**I. 「ビジョンがない所では、民は勝手に振る舞う」(箴言29:18):** **A.** 聖書の中では、「ビジョン」は特殊な光景を指します。それは、特別な種類の見ること、すなわち、栄光に満ちた、内側で見ることを指しており、また私たちが神から見る霊的な光景も指しています。 **B.** 私たちはビジョンを持つために、啓示、光、視力を必要とします。 **C.** 天的なビジョンは私たちが支配し、私たちが制限し、私たちが制御し、私たちが方向づけ、私たちが保護し、私たちが徹底的に変革し、私たちが真の一の中に保ち、私たちに前進する大胆さを与えます。 **D.** 私たちがこのビジョンを見るとき、私たちの内なる存在全体は内側から転換し、私たちの思想、観念、態度は変えられます。 **E.** 天的なビジョンは私たちが動機づけ、私たちに活力を与え、私たちが支え、私たちに忍耐を与え、私たちが主の最新の行動の中へと与え、私たちがこの人生を意義と目的に満ちたものにします。 **F.** 主に仕えるあらゆる人は、ビジョンのある人にならなければなりません。内なるビジョンは、私たちが主に仕える方法を徹底的に変革します。 **G.** 天的なビジョンの下で、私たちは神の目的地へと向かって方向づけられます。また、私たちの生活は神のエコノミーにしたがって支配されます。 **H.** 聖書の中の支配するビジョンは、三一の神がご自身を彼の選ばれ贖われた人の中へと造り込んで、神聖な三一をもって彼らの全存在に浸透し、キリストのからだを生み出し建造し、新エルサレムにおいて究極的に完成するということです。 **II. 「真理を買い、それを売ってはならない」(箴言23:23):** **A.** 真理は、買わなければならないもの、代価を払わなければならないものです。 **B.** 神聖な真理は絶対的です。私たちは真理のために絶対的になって、真理の絶対性を保持しなければなりません/真理のために絶対的であることの意味は、感覚をわきに置くこと、個人的な関係を顧みないこと、自分のためではないことです/真理は唯一の標準であり、私たちは真理の側に立って、自己に反対しなければなりません。私たちが自己から救い出されるときはじめて、真理の絶対性を保持することが可能になります。 **C.** 神聖なエコノミーの究極的な完成のために、私たちは現にある真理のために絶対的になる必要があります/現にある真理は、以下のものに関する啓示を含んでいます。すなわち、神の永遠のエコノミー、神聖な三一、すべてを含むキリストのパーソンと働き、究極的に完成された命を与える霊、神の永遠の命、キリストのからだとしての召会、新エルサレムです/現にある真理は、神聖な啓示の高嶺を含んでいます。この啓示とは、神が人と成ったのは、人が神格においてではなく、命と性質において神となって、キリストの有機的なからだを生み出し建造して、神のエコノミーを完成し、この時代を閉じ、キリストの再来をもたらして、彼の王国を設立するということです。 **III. 「人の霊はエホバのともし火であり、内なる存在の最も深い部分をすべて探る」(箴言20:27):** **A.** 人の霊は、人の中にある神のともし火です/ともし火が光を内容とし、光を表現するのと同じように、人の霊が造られたのは、神を内容とし、神を表現するためでした/神聖な光が人の内側の各部分の中へと輝くために、油としての神の霊は、芯としての人の霊に浸潤し(とミングリングし)、人の霊と共に「燃え」なければなりません/もし私たちが霊の輝きに応答するなら、私

たちは霊にしたがって歩きます。 **B.** 神の霊もまたともし火であり、彼の七倍に強化された輝きを持っています/人の霊と神の霊は、両方ともともし火であり、共に人の内側の各部分を照らします。 **C.** 私たちが私たちの霊を活用して正しく祈るとき、輝くともし火があります/私たちが祈るとき、私たちの霊は輝くともし火として機能し、私たちの魂のすべての部分を探ります/私たちは、私たちの霊を活用して祈れば祈るほど、ますます照らされます/私たちの内側の各部分は、主によって徹底的に探られます/私たちはそのような祈りの後、明るく透明であると感じ、神で満たされていると感じます。 **IV. 「何ものにもまさってあなたの心を見守れ。そこから命の流れが出てくるからである」(箴言4:23):** **A.** 魂は、パーソンそのものです。心は、行動するパーソンです/私たちの内なる存在の中には、私たちが代表するものがあります。そして、この代表するものは、私たちの心です/私たちと神との関係は、まず私たちの心にかかっています。なぜなら、心は、私たちが自分自身を表現する器官であり、また私たちが物事を受け入れるか拒絶するかを決定をする器官であるからです/私たちの霊は純粋なものです、私たちの霊を通して表現されるものは、私たちの心にかかっています。 **B.** 心は、私たちの全存在に対する出入り口です/私たちの真の存在が出てくるのは、私たちの心を通してです。なぜなら、私たちの存在の行き来は、私たちの心を通してであるからです/私たちの霊は、私たちの存在の源です。しかし、私たちの心は、通路、出入り口であって、私たちの存在の行き来は心を通してです/正しいクリスチャンになるために、私たちは私たちの霊を活用し、何ものにもまさって私たちの心を見守ることによって、私たちの心を護衛する必要があります。 **C.** 箴言4:23で「見守れ」と訳されたヘブル語は、「護衛する」を意味します/私たちは、何ものにもまさって私たちの心を護衛すべきです。なぜなら、私たちの心から、命の流れが出てくるからです/箴言4:23節の「流れ」は、源と泉と流れ出を暗示します/心は、命の源、命の泉、命の流れ出と関係があります/私たちであるもの(私たちの真の存在)の源泉、源は、私たちの心から流れ出ます。 **D.** 私たちが私たちの心を護衛するのは、私たちの心を顧みることと、主の御前で命の道において私たちの心を徹底的に対処することによります。私たちは、私たちの心に対処すればするほど、ますます私たちの心を護衛します。 **E.** 私たちは神の建造のために命において成長するために、主を愛し、私たちの霊に注意を払い、何ものにもまさって私たちの心を護衛して、命の道にとどまる必要があります。 **V. 「愛はすべての違反を覆う」(箴言10:12):** **A.** 「違反を覆う者は愛を求め。しかし、事を繰り返す者は親しい友を離れさせる」(箴言17:9)。 **B.** 覆うことは愛です。暴露することは、愛ではありません。 **C.** 覆うことは祝福をもたらします。しかし、暴露することは、のろいをもたらします。 **D.** 愛は「すべてを覆い」( I コリント13:7)、良い事を覆うだけでなく、悪い事も覆います/「私たちの長老職の下にいる、私たちの牧養の下にいる肢体たちを暴露することは、私たちの資格を無にします」/私たちは、神にしたがって人を牧養し、すべての違反を覆う愛を持つ必要があります。 **E.** 「何よりもまず、あなたがた自身の間で熱い愛を保ちなさい。なぜなら、愛は多くの罪を覆うからです」( I ペテロ4:8)。



**CP1:** 主のすべての働き人は、神のエコノミーのビジョンを見て、真理の絶対性を保持しなければならない

**OL1:**「ビジョンがない所では、民は勝手に振る舞う」(箴言29:18)。**OL2:** 私たちはビジョンを持つために、啓示、光、視力を必要とします。**使徒26:19** こういうわけで、アグリッパ王よ、私は天のビジョンに背かず。

多くのクリスチャンは、聖書におおいをかけて読みます。これが、おおいのない顔をもってキリストを見つめるべきであるとパウロが言う理由です。...パウロは、イスラエルの子たちがモーセの書を読む時、彼らの上におおいかかかっていて何も見ないと述べています。それからパウロは、彼らの心が主に向く時はいつも、そのおおいを取り除かれ、そしてその霊のあるところには自由があると言います。これは、私たちにおおいかかっているとき、私たちは縛られており、獄に閉じ込められており、私たちは自由がないことを意味します。おおいがなくなると、私たちは解放されています。この自由は神の霊から来ます。私たちは毎日神に来ることによって、聖書に来ることを学ぶ必要があります。私たちは自分の罪を告白して明確な状態をつくるべきであり、それによってその霊の中で神と交わりを持つことができます。...おおいはなくなるべきであり、光が来るべきです。さらに、私たちは視力を必要とします。もし私たちが盲目なら、たとえおおいが除かれて光があっても、私たちは何も見ることはできません。私たちは啓示、光、光を通してのビジョン、視力を必要とします。その時おおいがなくなり、ビジョンがここにあり、私たちは視力を伴って光を持ちます。私たちはまたその霊の知恵を通してビジョンに対する理解を持ちます。**OL3:**「真理を買い、それを売ってはならない」(箴言23:23)。**OL4:** 真理のために絶対的であることの意味は、感覚を置き、個人的な関係を顧みないこと、自分のためではないことです。**OL5:** 真理は唯一の標準であり、私たちは真理の側に立って、自己に反対しなければなりません。私たちが自己から救い出される時はじめて、真理の絶対性を保持することが可能になります。

もし代価を払って真理のいかなる部分にも従うことができないなら、私たちはただ自分自身を罪定めし、自分の弱さを告白することができるだけです。私たちはそれをやり遂げることができないので、あるいは自分のために願わしい結果をつくるゆえに、真理の標準を引き下げることはできません。主のすべての働き人は、真理の絶対性を保持しなければなりません。これは人が自己から解放される時はじめて、可能になります。多くの兄弟姉妹は、真理に対して絶対的ではありません。彼らは、人々や物事や個人的な感情に影響されています。もし人が真理に対して絶対的でないなら、彼は働きの過程で、人や自己や自分の願望のために神の真理を犠牲にするでしょう。主のしもべであるための基本的な要求は、真理を犠牲にしないことです。

#### 適用: 奉仕者編

ビジョンを持つために、あなたは啓示、光、光を通してのビジョン、視力を必要とします。啓示の英語は Revelation で覆いを取るという意味です。あなたの観念の覆いが取られるべきです。そして光を受け、キリストと召会に関する神のエコノミーのビジョンを、視力を持って見る必要があります。リー全集通読で、1981年第一巻上

の「パウロの完成する務めの中心的なビジョン」の第二編「神のエコノミーの中心的なビジョンの下で生き、働く...キリストを経験し、供給して、キリストのからだを建造する」の中で、リー兄弟は十分な時間を費やして、神のエコノミーのビジョンに関して祈り、交わるように勧めています。

更にあなたは神のエコノミーのビジョンを見た後、それを売ってははいけません。神のエコノミーの真理、ビジョンを売るとは、自分の都合でそれを曲げることです。例えばリー兄弟はアメリカで務めを開始した時、「キリストがその霊であることは確かに聖書にあるが、それを言うとき多くの人がつまずくので、言わないでほしい」との強い要望がありました。しかし、リー兄弟は真理の絶対性を保持するために、「キリストがその霊、命を与える霊である」ことを語り続けました。なぜなら、キリストが命を与える霊であることは神のエコノミーの命脈であるからです。リー兄弟の真理に対する絶対的な態度は私たちの模範です。あなたは神のエコノミーに従って、「キリストを命とし、召会生活をあなたの中心にする」必要があります。このことを実際にしてください。しかし、そのためには真理の絶対性についての自分の意見や言い訳を十字架に付ける必要があります。

**兄弟の証し:** 私は全時間奉仕を始めた時、生涯、全時間奉仕を続けるつもりでしたが、主の環境上の導きにより、仕事をする事になりました。その時、全時間奉仕の霊を持って仕事をする願いを持ちました。実際に仕事を始めると、様々な誘惑や挫折がありましたが、主のあわれみと妻の助けにより、召会生活を中心に据え続けることができました。多くの兄弟たちが、「あなたは全時間奉仕の時のようにしていると、会社をクビになるので注意した方が良いでしょう」と勧めてくださいました。当時全時間奉仕が非常にまれであったので、兄弟たちの勧めはもったもなものでした。しかし私は心の中で、「忠告に感謝します。私は台湾で聞いてきたことが、日本で通用するかどうか実験してみたいのです。私の姉妹も同意しているので、思い切って実験させてください」と言いました。30年以上のビジネス・ライフの実験を通して、私はキリストと召会のビジョンを日本でも実行可能であると強く宣言することができます。キリストの愛の分与は、日本の文化的障壁に勝ち得て余りがあります。**ローマ8:35** だれが私たちをキリストの愛から引き離すのですか? 患難ですか、苦悩ですか、迫害ですか、飢えですか、裸ですか、危険ですか、剣ですか? ...**37** しかし、これらすべての事柄において、私たちを愛してくださった方を通して、私たちは勝ち得て余りがあります。**38** なぜなら、死も、命も、天使たちも、支配たちも、現在の事柄も、来たるべき事柄も、力も、**39** 高いものも、深いものも、他のどんな被造物も、私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から、私たちを引き離すことはできないと、私は確信するからです。

**祈り:** おお主イエスよ、私の覆いを取り除き、神のエコノミーのビジョンを見せてください。見たビジョンに従うことができるように、自分の都合や願望のゆえに真理の標準を引き下げたり、曲げたりして真理を売ることがないように、自分の意見や言い訳を十字架に付けます。リー兄弟の真理に対する絶対的な態度を模範とし、神のエコノミーに従って、キリストを命とし、召会生活を私の生活の中心に据えることができますように。



**CP2:** 何ものにもまさってあなたの心を見守る必要がある。  
それは、心から命の流れが出てくるからである

**OL1:** 「人の霊はエホバのともし火であり、内なる存在の最も深い部分をすべて探る」(箴言20:27)。

肉にしたがって生きる人たちがいます。彼らの唯一の関心事は一時的な享楽です。他の人は自分の魂にしたがって生きています。彼らは物事が順調にいくときには得意になりますが、環境が好ましくないときは落ち込みます。時には彼らは、自分の仲間に対して喜んでいるのですが、他の時には批評したり、さらには憎んだりします。自分の魂にしたがって生きていても、彼らを知っている人に高く評価されている人たちがいます。彼らは天候のように気まぐれではなく、理性的に行動し、どのように行動すべきか先々のことを考えます。彼らの振る舞いは自分の思考によって制御されています。

神の霊は、霊の一部分であるあなたの良心に触れました。あなたの霊は活性化され、あなたを悔い改めと罪の告白に導きました。あなたの霊は今、神の霊によって内住されたともし火であり、神の霊もまたともし火です。霊は、あなたの魂の各部分を照らすことを願います。霊の輝きに応答することによって、あなたは「霊にしたがって歩く」ようになります(ローマ8:4)。

**啓4:5** そして七つの火のともし火が、御座の前で燃えていた。この七つの火のともし火は、神の七つの霊である。

霊は私たちの感情、特に姉妹たちの感情の上で輝くかもしれませんが、私たちは閉ざしてしまい、ときには泣いて、その領域には触れないよう主に請い求めさせます。同じ事が私たちの意志に、特に兄弟たちの意志に起こるかもしれません。もし私たちが自分の意志を閉ざしてしまうなら、霊はその輝く機能を果たすことができません。

**OL2:** 「何ものにもまさってあなたの心を見守れ。そこから命の流れが出てくるからである」(箴言4:23)。

私たちは主との良いやりとりを持ち、彼に正しい方法で私たちを対処する立場と道を得ていただきます。その時私たちは、三一の神を命と油塗りとして私たちの内側に持つでしょう。これは私たちの協力を要求します。...このすべてを実行へと移してください。思いの中で明確になること、感情をもって主を愛すること、正しい良心を持つこと、意志において柔らかくされることを実行してください。これを行なう唯一の道は、祈ることによります。私たちは主に行って、「主よ、私に明確な思い、理解する心を与えてください」と祈る必要があります。雅歌1:4の「私を引き寄せてください。私たちはあなたの後を走ります」という祈りは、愛する心のための祈りです。私たちはまた祈らなければなりません、「主よ、あなたに対する愛する心と、あなただけ愛する感情を私に与えてください」。私たちはまたこのために祈り、また私たちの良心が正しくあるように祈らなければなりません。そうすれば私たちは祈るとき、自分の意志がかたくなであるだけでなく、頑固でもあることを見るでしょう。ですから私たちは、意志が柔らかくされるように祈る必要があるのです。...人が純粋な心を持つとは何を意味するのでしょうか? それはこの四つの事柄です。すなわち、思いが明確であり、感情が愛しており、良心が正しく、意志が柔らかいことです。

**適用:** ビジネスパーソン・大学院生編

命を与える霊は、召会の墮落に対抗するためにその

機能が七倍に強化されています。終わりの時代は、不法がはびこる暗闇の時代ですが、この時、その霊はその輝きにおいて七倍に強化されます。

**FN** 神の七つの霊: 七つの霊は、疑いもなく神の霊です。七は神の活動における完全な数ですから、七つの霊は、地上における神の行動のためでなければなりません。本質と存在において、神の霊は一ですが、神の運行の強化された機能と働きにおいて、神の霊は七倍です。それは、ゼカリヤ 4:2 にある燭台のようです。存在においては、一つの燭台ですが、機能においては、七つのともし火です。本書が書かれた時、召会は墮落して、時代は暗くなっていました。ですから、神の七倍に強化された霊が、地上における神の動きと働きのために必要でした。

あなたは暗闇を見る時、七倍に強化された霊に戻り、この霊によって燃やされるべきです。暗闇ばかり見つめて弱くなってはいけません。燃える霊は、あなたの霊を燃やし、あなたの中の消極的なすべてのもの、不信仰、つぶやき、不平、この世を愛する心、隠れた個人的な意図などを照らし、暴露します。この時あなたは罪を告白することで応答すべきです。

あなたの心の各部分、良心、思い、意志、感情には多くの病があります。例えば、あなたが人を許せないことや、人に対する偏見を持つことは、あなたの心が病んでいる証拠です。罪の告白、主との親密な交わり、兄弟姉妹との1対1の交わりを通して、良心は正しくされ、思いは明確になり、感情は熱烈に主を愛し、意志は柔軟にされて、心が純粋になることができます。

**アンドリュー・ユー兄弟との1対1の交わりの証**: 私が30代の後半の時、特別集会の合間にアンドリュー・ユー兄弟と東京の集会所で個人的に1時間ぐらい交わる機会がありました。私は最初、仕事を見つけるのが大変でしたが、主の導きと祝福のゆえに、米系の製薬会社でManagerをして、職場で主を経験していることを説明しました。彼は、「仕事を愛してはいけません」と言われました。私はここまでたどり着いたことで、主に感謝の気持ちで満ちていましたので、兄弟にそのことを評価してもらいたいと思っていました。ですから、彼が「仕事を愛してはいけません」と言われたことに、不満でした。しかし不満を持っていると開いた交わりができないので、心の中で主の御名を呼びながら、交わりました。この交わりした後、私は「私は仕事を愛しているわけではないのに、なぜアンドリュー兄弟は『仕事を愛してはいけません』と言われたのだろう?」と考えました。私は「良く分からないが、兄弟が交わってくださったので、祈らなければならない」と思いました。しばらくして、私は「仕事を愛してはいけません」とは「主ご自身よりも、主が与えられた祝福を愛してはいけません」という意味であることを理解しました。そしてこの祈りによって、私は度々助けられ、心が守られました。

**祈り**: お主イエスよ、命を与える霊は、今七倍に強化されています。内側、外側に暗闇を見る時、七倍に強化された霊に戻ります。暗闇ばかり見つめて弱くなることなく、私の霊を燃やしてください。私の中の消極的なすべてのもの、不信仰、つぶやき、不平、この世を愛する心、隠れた個人的な意図、偏見、人を許せないことなどを照らし、暴露してください。照らされた罪を告白し、純粋な心を持つことによって、命は流れます。アーメン!



**CP3:** 主との親密な交わりを持ち、平安の神に心を護衛していただくことによって、心を見守ることができる

**OL1:** 箴言4:23で「見守れ」と訳されたヘブル語は、「護衛する」を意味します。私たちは、何ものにもまさせて私たちの心を護衛すべきです。なぜなら、私たちの心から、命の流れが出てくるからです。申10:12 今、イスラエルよ、エホバ・あなたの神があなたに求めておられるのは、ただあなたが、エホバ・あなたの神を畏れ、彼のすべての道に歩み、彼を愛し、心を尽くし、魂を尽くしてエホバ・あなたの神に仕え。I テサロニケ3:13 どうか、私たちの主イエスが、彼のすべての聖徒と共に来臨する時、私たちの神また父の御前で、あなたがたの心を堅固にし、聖別の中で責められるところのないものにしていただきますように。

私たちの心が活発であるときはじめて、霊の活用には効果があります。…もし私たちの心がまどろみ、眠っているなら、霊を活用して主の御名を呼び求めることは効果がないでしょう。もし私たちの行動する主体、私たちの心がまどろんでいるなら、この活用は働くことができないのです。こういうわけで、私たちは心を徹底的に対処する必要があります。この対処は私たちの思い、感情、意志を含んでいなければなりません。私たちの思いはキリストの思いでなければならず、私たちの感情はキリストの愛で浸透されなければならず、私たちの意志は彼の意志と一でなければなりません。これが私たちの心の状態であるなら、私たちの心は活発で機能するでしょう。そして私たちの心が活発であるとき、主を呼び求めるなら、この呼ぶことは大いに効果があるでしょう。

私たちは祈る必要があります、「主よ、私をあわれんでください。私の心が更新されることを願います。私の感情があなたの愛で満たされることを願います。あなたの意志と真に一である意志を持つことを願います」。私たちがそのような心を持つなら、心は私たちの行動する主体として堅固にされ、聖別の中で責められるところがなく、聖とされた状態の中で責められるところがないでしょう。

**OL2:** 「愛はすべての違反を覆う」(箴言10:12)。「違反を覆う者は愛を求める。しかし、事を繰り返す者は親しい友を離れさせる」(箴言17:9)。

覆うことは祝福をもたらします。しかし、暴露することは、のろいをもたらします。もしある兄弟が真理から迷い出て、宗派に参加したり、映画に行ったりするなら、私たちの小組は、私たちは彼を必要としないと感じ、彼には資格がないので彼を受け入れないかもしれません。これは、愛ではありません。これは憎しみです。愛は多くの罪を覆います。たとえ彼が映画に行くことを知っていても、人に告げるべきではありません。これが彼を覆うことです。私たちは、彼のおおいを取ったり、彼を暴露したりしたくありません。おおいを取ることは、愛ではありません。憎しみは争いをかき立てますが、愛はすべての罪を覆います。私たちはむしろ、泥酔のゆえに父の裸を覆ったノアの子たちのようでありたいのです。私たちは人を暴露したくありません。覆うことは祝福をもたらしますが、暴露することはのろいをもたらします。これは小さな事柄ではありません。暴露する人たちはのろいを被りますが、他の人たちの罪、欠点、短所を覆う人たちは祝福を享受し、獲得し、受けます。

**適用:** 新人及び中高生・大学生編

中高生、大学生、新人の皆さんは、あなたの心を見守ることを学んでください。ピリピ4:4 主の中でいつも喜びなさい。私は繰り返して言います。喜びなさい。5 …主は近いのです。6 何事にも思い煩うことなく、あらゆることにおいて、感謝をささげることを伴う祈りと願い求めによって、あなたがたの要望を神に知らせなさい。7 そうすれば、人知をはるかに超えた神の平安が、あなたがたの心と思考を、キリスト・イエスの中で護衛していただきます。FN **神の平安:** 祈りの中で神と交わりを実行した結果は、神の平安を享受することです。神の平安は実際上、平安としての神であり、私たちが祈りによって彼と交わることを通して、悩みの均衡を取る重り、思い煩いの解毒剤として、私たちの中へと注入されます。FN **護衛する:** あるいは、歩哨に立つ。平安の神は、キリストにある私たちの心と思考の前を巡回して、私たちが落ち着かせ、静めていただきます。

自分の心を見守る秘訣は以下の通りです。①心が正しくなければ、あなたの中の神の命は流れ出すことができないので、証しのある祝福された生活を持つことができないことを知る、②良心の感覚に従って、自分の罪を告白する、③主との親密な交わりを持ち、平安の神によって心を護衛していただくことです。言い換えると、あなたは主と協力して、あなたの心を見守るべきです。

例えば、あなたが友人、先生、上司、両親との人間関係が上手くいきません。この時あなたはまず、自分の心を見守り、心を正しく調整すべきです。墮落した人の心の中に、「他人を責め、自分を義とする」という不義があります。神は義なる方なので、不義を根拠に考えて、行動してはいけません。あなたは他人を責めることで、実は自分の罪を隠しています。また、「相手の罪の程度が5で、自分の罪は3なので、引き算すると相手が2自分が0になる。したがって、自分は罪を告白する必要がない」と勝手に引き算してはいけません。更に、あなたの評価は主観的で、不公平です。ですから、聖書では自分の罪を告白するように言っているのです。マタイ7:3 なぜ、あなたの兄弟の目にある木くずを見ながら、自分の目にある梁に気づかないのか? 4 …見よ、梁があなたの目にあるのに、どうしてあなたの兄弟に、『あなたの目から木くずを取らせてください』と言うことができるのか? 5 偽善者よ、まずあなたの目から梁を取り除きなさい。そうすれば、あなたは、はっきり見えるようになって、あなたの兄弟の目から木くずを取り除くことができる。

そうすれば、あなたの人間関係において、命が流れ出て、人間関係が徐々に改善され、祝福されます。また、あなたは神が世の人(罪人)を愛されたように、あなたの福音友人を愛し、彼らの罪を愛の中で覆うべきです。

**祈り:** 主イエスよ、私たちの心から、命の流れが出てくるので、何ものにもまさせて私たちの心を見守る必要があります。そのためには、良心の感覚に従って、自分の罪を告白し、主との親密な交わりを持ち、平安の神によって心を護衛していただく必要があります。墮落した私の心の中には、他人を責め、自分を義とし、自分の罪を隠そうとする不義があります。自分の罪を告白し、命を流し出し、福音友人を愛し、彼らの罪を愛の中で覆うことを学びます。主よ、私を、命を流す器としてください。